

ドラッグインフォメーション

平成 30 年 4 月改訂

販売名	氷酢酸	発売	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 氷酢酸	製造販売	東豊薬品株式会社	
洋名	Glacial Acetic Acid	発売年月	2000 年 4 月	
一般名	氷酢酸	薬価収載年月	1955 年 9 月	
剤形	皮膚軟化剤	薬価	10g 8.30	健保適用
規制区分	普通薬	日本標準商品分類番号	8 7 2 6 6 1	
厚生労働省薬価基準 収載医薬品コード	2661702X1408	YJコード	2661702X1408	
構造式	構造式 : CH_3COOH 分子式 : $\text{C}_2\text{H}_4\text{O}_2$ 分子量 : 60.05			
性状	本品は無色澄明の揮発性の液又は無色若しくは白色の結晶塊で、刺激性の特異なにおいがある。 水、エタノール(95)又はジエチルエーテルと混和する。 比重 d_{20} : 約 1.049			
組成	酢酸 99.0%以上を含む。			
効能 効果	洗淨液、収れん液の調剤に用いる。又、 緩衝・矯味の目的で調剤に用いる。	用法 用量	洗淨液、収れん液の調剤に用いる。又、緩衝・矯味の目的で 調剤に用いる。	
使用上の 注意	1) 本品の蒸気は引火しやすいので注意すること(引火点約 44°)。 2) 本品の蒸気は呼吸器を刺激し、皮膚に触れると激しい炎症を起こす。 3) 皮膚、粘膜を刺激し、これを腐蝕、発泡、発赤させる作用がある。 4) 誤って摂取した場合、口、咽喉、腹部に激痛を与え粘膜に潰瘍を生じ、嘔吐、吐血、下痢を起こし、 呼吸及び体温の異常、虚脱などの症状と共に、タンパク尿、尿毒症を併発する。 激痛にはモルヒネ注射を行い、牛乳、卵白、水酸化マグネシウム又はカルシウムを与える。炭酸塩重炭酸塩の 投与は避け、胃洗淨は行ってはならない。 5) 皮膚についたら十分に水洗し、程度が大きいときは医師に相談すること。			
備考	第二石油類、水溶性、火気厳禁、 危険等級Ⅲ 貯法 : 気密容器 包装単位 : 500mL、20kg	文献 請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央 5-1-10	